

ROTARY INTERNATIONAL

Rotary 松江ロータリー・クラブ 週報

MATSUE WEEKLY

2019-20年度国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

No. 3271

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3271回例会(令和元年11月13日・水)

今週のプログラム

11月13日(水) ゲストスピーチ
「男女共同参画社会実現に向けて
～女性を真のパートナーにするために～」
島根大学保健管理センター教授 こうの よしえ
男女共同参画担当学長特別補佐 河野美江氏

次週のプログラム

11月20日(水) ゲストスピーチ
はせくらつねなが
「慶長遣欧使節 仙台藩士『支倉常長肖像画』」
や た かずひろ
第3グループガバナー補佐 矢田和弘氏

結婚月

小林 淳一	会員	12日	山本 公司	会員	21日
服部 泰直	会員	23日	和田 昇司	会員	24日
小林 祥泰	会員	28日			

2019年11月～12月の予定

11月20日(水) IM実行委員会(総務・登録・記録委員会)
会場:松の間 例会終了後～
12月4日(水) 定例理事会

例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
11月13日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町杵築南1344)
11月14日(木)	米子中央	ANAクラウンホテルプラザ米子1F
11月18日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
11月19日(火)	出 雲	ホテル武志山荘
11月21日(木)	松江東	ホテル一畑
11月25日(月)	出雲中央	出雲ロイヤルホテル内事務局
11月26日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
11月27日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町杵築南1344)
11月28日(木)	平 田	ホテルほり江
11月29日(金)	出 雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局



本日のエレクトーン 松本悦子さん

第3270回例会記録

令和元年11月6日(水・晴れ)

会員数	68名
出席者数	42名
欠席者数	26名
出席率	67.74%(出席免除会員含む)
前々回補正	91.94%(出席免除会員含む)

ピジター なし

メーキャップ 今井(米子南) 加来、亀山、杉山、波多野、古瀬(松江東)
徳山、花尻(松江しんじ湖)
内田、川上、杉原、中村、西村、福田、山本(地区大会)

会務報告

櫻井会長

ゲストスピーカー紹介
古代出雲歴史博物館 参与 まとの かつゆき 的野克行様

原田幹事

本日ガバナー月信11月号配付。
本日例会終了後、定例理事会、そのあと松の間においてIM実行委員会開催。ご関係の方はご出席いただきますようお願いいたします。

委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 福嶋会員
出席報告
乾会員より松江歴史館の報告

スピーチ

「特別展『出雲と大和』を開催する意味」
古代出雲歴史博物館 参与 まとの かつゆき 的野克行氏



ニコニコ箱

19,000円

櫻井、後藤、小林淳、紀野(古代出雲歴史博物館 的野様のスピーチに)
谷口博(的野先生をお迎えして。的野先生には中村元記念館の講師もお願いしております。)
錦織(10月下旬～11月初めまで「小泉八雲朗読のし

らべ」のアメリカ公演でニューヨーク、シンシナティ、ニューオーリンズの三都市を小林祥泰会員と巡回しました。ニューヨークでは上定会員と再会し、ニューオーリンズでは谷口博則会員がご出版予定のエパレット・ブラウン氏の写真展へも参りました。ロータリークラブのご縁で有意義な時間が過ごせました。) 永通(出席100%賞ご利用ありがとうございました。) 原(すみませんが早退します。) 波多野(出席100%賞、結婚月) 木村、木田(誕生月)

ベストメッセージ賞：錦織伸行会員
司会 紀野典彦会場監督

11月理事会報告

承認事項

- ・2020-21年度地区ガバナーノミネー推薦の件なし
- ・令和2年松江市成人式への協賛の件
松江4クラブ合同で協賛
- ・年次総会の件 12月11日(水)

ひとこと
随想

白内障手術の記



井戸内 義文
いどうち よし ぶん

今年1月末日に、2度目の白内障手術を受けました。専門医がいらっしゃる中で僭越ですが、私の中では今年一番のイベントでしたので掲載させていただきます。加齢による老人性白内障で、目の水晶体に含まれるたんぱく質が白く濁ったり、硬くなったりして起こります。6年前に左目、今回は右目の手術でした。目に曇りが出たり、月がダブって見える状態になりました。幼少の頃より視力だけは良く、一切気に掛けたことがなく過ごしていましたが、そのうち車の運転に支障が出るようになり手術を受けました。

事前に眼科医院でもらう手引きには、「白内障手術は他科領域の手術を含め、あらゆる手術の中でも最も安全で効果の高いものです。」と謳っており、実際ものの10分間で手術は終わります。しかし、目を開けたままの手術で今回も全身に力が入り時間の流れは遅く、様々なことが短い時間に頭をよぎりました。

術後2週間は洗顔・洗髪(仰向けは可)・顔の化

粧は禁止で、4週間は禁酒でした。2月は寒く汗をかきにくく、会食の機会も少ないので前回も同じ時期に手術を受けていました。禁酒は苦痛ではないのですが、洗顔・洗髪ができないのは不快です。(重病、重症を経験された方には申し訳ありません)禁酒解禁後にゴルフをしましたが、ボールの落ちどころはよく確認できました。(ただし、スコアには影響ナシ)

白内障手術の歴史は古く、紀元前800年頃のインドで記録が残っているそうです。針で目を突くという手術で1800年頃まで続いたそうです。(恐ろしい手術です!)今では簡単な手術ですが、少し前まではかなりリスクがあった手術ではなかったかと思います。未経験の方に手術内容を話すと、皆さん目の手術には抵抗があるようです。他の医療技術と同様に、白内障の手術自体日進月歩で進化していると思いますが、より簡単な手術あるいは投薬のみで完治する治療が確立されることを切に願います。(総合建設)